

座布団おじさん

座布団おじさん

警官

舞台上、ベンチを横して、椅子を並べる

照明、全体

s. e. 鳥のさえずり等、公園的な

警官、舞台前方から登場

なんとなく周りに気を配りながら、上手側に

座布団おじさん（座布団を持ったおじさん）、舞台後方から登場

タバコのように、小枝を吸っている

座布団 おはよう。

おはよう。

おはよう。

警官 ∴

座布団 ∴

座布団おじさんと警官、目が合う

沈黙

座布団おじさん、警官を無視し、違う方向を向いて

座布団 おはよう。

警官 俺には。

座布団 ∴

警官 いや、目合っていましたよね。

その前、いっぱい「おはよう」つて、言ってたのに。

そもそも、誰に「おはよう」言ってたの。

座布団 俺はよ、挨拶つてのは、心の在りかだと思っわけよ。

警官 あ、はあ。

座布団 俺はよ、下衆な人間だ。

警官 どうしたんですか、急に。

座布団おじさん、ベンチに向かい、ベンチに座布団を置き、違うところに座る

警官 ：

座布団をやさしく撫でる

座布団 俺、うまいこと言った。

警官 分かんないです。

座布団おじさん、再び、座布団を持って、舞台中央に

座布団おじさん、小枝を吸う

警官 あの、それは、何ですか。

座布団 枝。

強いて言えば、小枝。

警官 どうしたんですか、それ。

座布団 拾った。

強いて言えば、もの凄い勢いで拾った。

警官 そうなんですか。

座布団 バツて

警官 すごい勢いですね。

座布団 ちよつと声も出てたかもな。

警官 はあ。

座布団 ビユウって。

警官 バツじゃないんだ。

座布団おじさん、小枝を全力で投げ捨てようとする。

とどまる。

そつと捨てる。

警官 そうですよ。

あの勢いで投げたら、危ないですもんね。

座布団 俺はよ、風つてのは、北から吹くもんだと思っただよ。

警官 色んな方向から吹くと思いますよ。

座布団おじさん、小枝を拾い、吸う

警官 タバコを買うお金がないんですか。

座布団 俺はタバコは吸わねえ。

警官 そうなんですか。

座布団 タバコはよ、身体に悪いんだよ。

警官 はあ。

座布団おじさん、ベンチに向かい、ベンチに座布団を置き、漕ぎとところに座る
座布団を優しく撫でる

座布団 俺、うまいこと言った。

警官 使わないんですか。

座布団 ……

警官 いや、あの、座布団、使わないんですか。

座布団おじさん、再び、座布団を持って、舞台中央に

座布団 お兄ちゃんよ。

今、お前、座布団に座らないのかって聞いたよな。

警官 あ、はい。

座布団 なるほどな。

警官 何か気に障りましたか。

座布団 お兄ちゃん。

雨降りそうな日って、傘持つよな。

警官 はい。

座布団 ……そういうことだよ。

警官 どういうこと。

全然わかりませんよ。どういうことですか。

座布団おじさん、ベンチに向かい、ベンチに座布団を置き、漕ぎとところに座る

警官 だから、なんで座らないの。

あの、少し、お話し伺っても良いですか。

座布団 ……(きよるきよるする)

俺か。

警官 もちろん。

座布団 ああ、良いよ。

警官 あの、私、こういう者なんですけど。

警官、警察手帳を見せる

座布団 おお、お兄ちゃん、警察か。

警官 はい。

座布団 ご苦労様です。

警官 ありがとございます。

座布団 で、どうした。
何かあったのか。
警官 いや、あの、ちよつとこの辺に怪しい人がいるってことなんで、
座布団 俺はよ、毎日、ここに来てるからよ、何でも聞いてくれよ。
俺は協力するよ。何て言つたつて、毎日、ここに来てるからよ。
もし、見つけたら、俺が蹴りやりてやるよ。
鼻っ柱に、てやつて。

座布団おじさん、ちよつとだけ足を上げる

警官 あ、その座布団は、いつも持つてらっしゃるんですか。
座布団 まあ、そうだな。俺の一部みてえなもんだ。
警官 座らないのに。
座布団 馬鹿か、お前。
警官 え、何がですか。
座布団 山が動くか。
警官 どういうことか分からないんですけど。
座布団 お前よ。考えたことあるか。
座布団つてのは、畳んで持つて歩いてもいいし、一枚のまま持つて歩いてもいい。
警官 ∴
座布団 だろ。
警官 まあ、そうですね。
座布団 俺、うまいこと言つたな。
警官 酔つてらっしゃるんですか。
座布団 俺、酒は飲まねえ。
警官 そうなんですか。
座布団 俺は母ちゃんだけだからよ。
警官 聞いてないんですけど。
座布団 母ちゃん、愛してつぞろ。
警官 大きな声出さないで。
座布団 酒もたばこもやんねえ。
母ちゃんだけだよ。
警官 本当に酔つてないですか。
座布団 酔つてねえよ。
飲んでねえもの。
警官 一回、署に来て、お話聞きたいんですけど。
座布団 なんでだよ。
お前は、この辺、うろろろしてる怪しい奴捕まえるよ。
警官 いや、ですから。
座布団 俺も協力してやるから。

警官 ですから

座布団 どこにいやがんだよ。怪しい奴。

警官 あなたですよ。

座布団 あなた。

あなたって誰だよ。

警官 ですから、あなたですって。

座布団 はあ。

警官 座布団おじさんが怖いつて連絡がありました。

座布団 座布団おじさん、誰だよそれ。

警官 あなたでしょ。

座布団 そんな訳ねえだろ。

なんだ、その座布団おじさんって。

怪しいじゃねえかよ。

警官 あなた以外ないでしょ。

座布団 俺じゃねえよ。

警官 ちよつと、その座布団、預らせてもらいますね。

中に何か入ってるかもしれませんから。

座布団 は、何言ってるんだ、お前。

警官、座布団おじさんから、座布団を取る

座布団おじさん、弱る

座布団 あゝ。

警官、返す

座布団 お前、俺は怪しくも何ともないよ。

警官、座布団おじさんから、座布団を取る

座布団おじさん、弱る

座布団 あゝ。

警官 この座布団の中に、麻薬とか隠してるんじゃないですか。

座布団 あゝ。

警官、返す

座布団 俺は母ちゃんだけだ。

警官、座布団おじさんから、座布団を取る

座布団おじさん、弱る

座布団 あゝ。

警官 返す

こういやりとりを適当に何回か繰り返す

座布団 俺、座布団おじさんだ。

警官 とりあえず、署まで来ていただけますか。

照明、暗転

了

鉛筆を削るおじさん

椅子を3脚

照明、全体

新聞紙等を持って登場

舞台中央 中津

下手、寺田

上手、清水

新聞紙を広げ、座る

鉛筆を削り始める

しばし無言

お客さんが違和感を感じるまで無言

清水、きっかけで色々始まる

清水、鉛筆に何かを振りかける様な動作

寺田 どうしたんですか。

清水 今、何時かなあと思つて。

清水、執拗に、鉛筆に何かを振りかける様な動作

寺田、携帯を取り出し

寺田 ○時○分です。

清水 ありがとう。

しばらく鉛筆を削る

清水 今、本を読んでるんです。

寺田 芥川つて面白いですよ。

清水 ∴

寺田 ∴

清水 ありがとう。

鉛筆を削る

清水 今、食べるように食べてるんです。

寺田 うるさい、ハゲ。

清水 ::

寺田 ::

清水 ありがとう。

鉛筆を削る

清水 今、泳いでるんです。

寺田 バタフライですね。

清水 ::

寺田 ::

清水 ありがとう。

鉛筆を削る

寺田、袖に行き、鉛筆削りを持つてくる

寺田、手動の鉛筆削りで、鉛筆を削る

清水、驚いた様子で寺田を見る

清水、袖に行き、ランドセルを背負つてくる

鉛筆を削る

寺田、清水を驚いた様子で見る

清水、おもむろにランドセルから笛を取り出し、吹く

寺田、清水を睨む

寺田 へたくそ。

清水 ::

清水、笛をランドセルにしまつて、ランドセルを袖に戻す

清水、芯だけ長い鉛筆を取り出して、自慢する

寺田、悔しそうにする

寺田、袖に行き、煎餅を持つてくる

封を開け、食べる
清水、寺田を見る
寺田、清水に煎餅をあげる
寺田、なかなかかじれない。
清水、良い音をさせて、煎餅を食べる
寺田、清水を睨む

寺田、手で細かく砕いて、煎餅を口に入れ

寺田 生姜生米生卵。

清水、対抗して

清水 青春紙赤巻紙黄巻紙。

清水、寺田、見合って、頷く
鉛筆を削る

寺田、袖に行き、電動の鉛筆削りを持つてくる
電動の鉛筆削りで鉛筆を削る

清水、驚愕
寺田、コンセントから抜いて、清水に鉛筆削りを渡す
清水、笑顔で受け取り、鉛筆を入れる。動かない。
清水、寺田に返す
寺田、再びコンセントを挿して、削る
清水、驚く

照明、暗転
鉛筆削りの音が響いている

アンドロイドさん

コーチ

選手1

選手2

選手1、2、板付き

パス練習的な。ちなみにサッカー。

照明、全体

選手1 今日から、新しいコーチ来るんだろ。

選手2 みたいだな。

選手1 どんなコーチかな。

選手2 わかんねえ。

選手1 まあ、どうせ、誰来ても、山田には勝てねえからな。

選手2 まあな。

コーチ、「どもども」等々言いながら、遠慮がちに登場

コーチ :

選手1 誰だ。

選手2 わかんねえ。

コーチ みなさん、ちよっと練習をやめて、集合してください。

選手たち、コーチのもとへ

コーチ みなさん、始めまして。

今日から、このチームのコーチに就任した、アンドロ・ザ・シヤイアントです。

みなさんは、コーチのことを、人間山脈と呼んでください。

コーチ、両腕を広げ、自分を大きく見せる

コーチ 見ればわかると思うけど、身長は、2mを越えています。

正確には、2m23cmです。

選手 :

コーチ みんな、一緒に甲子園を目指そう。

選手1 それ野球です。

うちらは、埼玉スタジアムとかですよ。

コーチ ちなみに、私は、野球に対する、専門知識は、一切ありません。
選手1 サッカーですつて。
コーチ 何となく指導していくので、それっぽく聞いてください。
的外れなことを言つても、それっぽく聞いてください。
もし、それっぽく聞いてくれない場合は、容赦ないびんたをします。

選手2 怖い、怖い。
コーチ それじゃあ、まずは、このチームの特色を見極めていきたいと思うので、
いつも通り、練習してください。
私のことは、気にせず、いつも通りの練習をしてください。

選手たち、パス練

コーチ、隅の方に移動し、両腕を広げ、自分を大きく見せながら、練習を見守る
時折、頷いたりする。
ある程度見て、中央に移動

コーチ みんな集合。
大体分かりました。
ちよつと聞いてください。
コーチ、昨日、家において、突然、アイスクリームを食べたくなりました。
この季節は、バニラのアイスクリームが、無性に食べたくなります。
分かりますね。
君もそうでしょ。

選手2 ちよつとわかんないです。
コーチ だからコーチは、近所のコンビニにアイスクリームを買いに行きました。
∴
よし、じゃあ、練習続けて。
君たちがどういう選手か知りたいから、いつも通りの練習をしてください。

選手たち、パス練

コーチ、隅の方に移動し、両腕を広げ、自分を大きく見せながら、練習を見守る
時折、頷いたりする。
ある程度見て、中央に移動

コーチ みんな集合。
とても良いと思います。
ですが、ちよつと聞いてください。
コーチ、昨日、家にいたら、アマゾンから荷物が届きました。
なぜなら、2、3日前に、ネットで買い物をしたからです。
何を買つたかと言うと、海苔の佃煮です。
コーチは、ご飯に海苔の佃煮をのせて食べるのが大好きです。

::

よし、じゃあ、練習続けて。

いつも通りで良いです。

何を考え、どんな練習をしているのか、コーチはしっかりと見えています。

選手たち、パス練

コーチ、隅の方に移動し、両腕を広げ、自分を大きく見せながら、練習を見守る
時折、頷いたりする。

ある程度見て、中央に移動

コーチ みんな集合。

みんな本当に一生懸命やっています。

素晴らしいです。

ですが、ちょっと聞いてください。

コーチ、昨日、寒かったんで、エアコンを点けました。

そして、眠ってしまいました。

どうやら、コーチは、エアコンを暖房と間違えて、冷房にしていたようです。

朝起きたら、お腹が痛いなあって思いました。

やっぱり寝る時は、冷房であれ、暖房であれ、オフタイマーをしっかりと設定して、寝た方が良くなって思いました。

::

よし、じゃあ、練習続けて。

いつも通りで良いです。

誰がどんな適性があるのか、コーチはしっかりと見えています。

選手たち、パス練

コーチ、隅の方に移動し、両腕を広げ、自分を大きく見せながら、練習を見守る
時折、頷いたりする。

ある程度見て、中央に移動

コーチ みんな集合。

みんな、しっかりと体幹を鍛えていますね。

素晴らしいです。

ですが、ちょっと聞いてください。

昔、どこぞの偉い人が、「パンが無ければ、ケーキを食べれば良い。」と言った様なことを言いました。

ですが、コーチは、ご飯党です。

ご飯が大好きです。

コーチは、ご飯に海苔の佃煮を載せて食べるのが大好きです。

::

よし、じゃあ、練習続けて。

コーチ今度は、みんなの近くに行ったりするかもしれないけど、コーチのことは気にせず、練習してください。

選手たち、パス練

コーチ、隅の方に移動し、両腕を広げ、自分を大きく見せながら、練習を見守る
動かない

時折、頷いたりする。

ある程度見て、中央に移動

コーチ みんな集合。

何人かは思ったと思う。

コーチ、全然動かなかった。

::

よし、じゃあ、練習続けて。

今度は、絶対に、みんなの近くに行きます。

今度は、絶対に、みんなの近くに行きます。

::

何人かは思ったと思う。

コーチ、何で2回言った。

::

よし、じゃあ、練習続けて。

選手たち、パス練

寺田、隅の方に移動し、両腕を広げ、自分を大きく見せながら、練習を見守る

両腕を広げた姿勢のまま、舞台上を練り歩く

ある程度 練り歩いてから、

微妙なホリエームで「ちやくら、くつちやくら」とドラゴンボールの歌を歌いながら、

練り歩く

中央に戻り

みんな集合。

とりあえず今日は、みんなの練習を見て、コーチの感想を言います。

袖の眼鏡。(大山)

大山とか言ったな。

コーチ、お前の顔が嫌いだ。本気で。

理由は無い。とにかく嫌いだ。

::

以上。

よし、じゃあ、明日からも、甲子園を目指して、一丸となって、練習してこい。

両腕を広げたまま退場
照明、暗転

了

三匹のおしせん

清水、福田板付き

チャンバラ的なことをやっている

照明、全体

清水 てやあ。う。

福田 ぐわあ。う。

何の。

清水 なに。う。

てやあ。う。

福田 ぐわあ。う。

やられた。う。

と見せかけて、

何の。

清水 なに。う。

2人、対峙する

清水 お主、なかなかやるな。

福田 お主、こそ。

2人、対峙する

清水 てやあ。う。

福田 ぐわあ。う。

福田、倒れる

福田、起き上がる

福田 清水殿。

見事でございしました。

清水 いやいやいや、福田殿こそ。

見事な切られっぷりでございしました。

福田 いやいやいや。

では、もう一回やりましょうか。

清水 良いですな。

2人、刀を構える

清水 いやあゝ。
福田 いやあゝ。
清水 いやあゝ。
福田 いやあゝ。

玉、舞台前方から登場

玉 すみません。
清水 ::
福田 ::
玉 すみません。
清水 ::
福田 ::
玉 すみません。
清水 うるさい。
邪魔をするな。
福田 お主何奴。
玉 うるさい。
お前らこそ、誰だ。
清水 拙者でござるか。
福田 拙者でござるか。
玉 2人ともだよ。
うちの子供も含めて、近所の子供が、最近、公園に変なおっさんがいて、怖くて遊ばない
って言ってるんだよ。
清水 ::
福田 ::
玉 お前らのことだよ。
2人 ::
玉 おっさん達、真つ昼間から何してんだよ。
仕事は。
清水 失礼な。こゝろ見えても、拙者、初陣もまだの18にいらしてる。
福田 拙者もでござるか。
玉 嘘つけ。
どう考えても、40過ぎたおっさんだろ。
良いよ。普通に話せ。
面倒くさい。
2人 ::

玉 おっさん達、何なの。
清水 拙者たちは、
玉 普通に話せて。
清水 ∴
玉 私は。
清水 わたしたちは、こよなく時代劇を愛するおっさん達です。
時代劇はお嫌いですか。
玉 嫌いじゃないけど。
清水 時代劇は後世に残さなければならない、とても大切な物です。
玉 あんた達がこんなことしなくても、テレビから無くならないでしょ。
福田 ちなみに、わたしは、あばれる君が大好きです。
玉 時代劇じゃねえじゃねえかよ。
清水 わたしは、竹山が大好きです。
玉 何に張り合ってたよ。
どっちも芸人だよ。
とにかく、それは分かったけど、何でこの公園でやってたよ。
この近くの人なの。
清水 いえ。
福田 そんなことない。
玉 じゃあ、何で。
清水 お互いの家の、中間地点がここだったんで。
玉 どっちかの家の近くの公園でやれよ。
2人 ∴
玉 な。
2人 ∴
玉 子供たち怖がつてんだよ。
2人 ∴
玉 ほら。
行けよ。
ほら。

2人、しどろしどろ退場

玉、退場

2人、登場

福田 てやあ〜。
清水 ぐわあ〜。
何の。
福田 なにいく。
清水 てやあ〜。

福田 ぐわあ。

何の。

清水 なにいく。

福田 やるでござるな。

清水 お主こそ。

玉、登場

玉 帰れつて。

2人 :

玉 な。

2人 :

玉 何で戻ってきたんだよ。

清水 拙者の馬が盗まれたでござる。

玉 チャリだろ。

じゃあ、歩いて帰れよ。

清水 おのれ、言わせておけば。

清水、玉に切りかかる

玉、びくともしない。

玉 満足か。

帰れ。

福田 清水殿の仇

福田、玉に切りかかる

玉、びくともしない。

玉 何なんだよ。

何で仇なんだよ。

良いから、帰れ。

2人、しどしど退場

玉、退場

2人、登場

適当にチャンバラ

玉、登場

玉 帰れ。

清水 お主、3匹目ですな。

福田 槍使いですな。
玉 違ふ。
良いから、帰れ。

玉、2人を帰そうとする

清水 小朝、何をする。
玉 小朝じゃねえよ。
福田 小朝、私だ、高橋英樹だ。
玉 だから、俺は小朝じゃないから。
清水 拙者が役所広司か。
玉 どっちでも良いよ。
福田 真麻、私だ。英樹だ。
玉 真麻、娘だよ。
清水 真麻、何をする。
玉 良いから帰れ。

玉、2人を無理矢理帰す

玉、退場

2人登場

適当にチャンバラ

玉、登場

玉 帰れ〜

2人退場

玉 いい加減にしろよ。

2人登場

棒を持ってくる

玉 何なんだよ。

2人土下座して

清水 一緒にやってください。

槍を持ってきたんで。

玉 棒じゃねえかよ。

清水 3匹目やってください。

そしたら、大人しく帰ります。
福田　　お願いします。
清水　　お願いします。
玉　　：
清水　　お願いします。
福田　　お願いします。
玉　　分かったよ。
やるよ。
小朝やればいいんだろ。
やったら、お前ら帰るんだろ。
清水　　天地神明にかけて。
福田　　同じく。

玉、棒を受け取り

玉　　分かったよ。
清水　　ありがとう。

3人構える

清水　　隙あり。
福田　　隙あり。
玉　　ぐわあゝ。
小朝切つて、どうするんだよ。
仲間だろ。
帰れ。帰れ。

棒を使つて、2人を帰す

玉　　何なんだよ。あいつらは。

息子に見られていた。

浩太郎。
違う違う。
お父さん違うから。
3匹目じゃないから。
浩太郎、待つて。
お父さん、違うから。
これ槍じゃないから。

浩太郎。

照明、眩転

了

喧嘩するおじさん

清水と玉、板付き

取っ組み合っつて、揉めている

照明、全体

清水 絶対そんな事ねえつて。

玉 お前が間違ってるつて。

清水 絶対、お前の方が間違ってるつて。

玉 お前だつて。

清水 お前だよ。

玉 お前だよ。

中津、登場

中津 何してんですか。

ちよつと、離れてください。

どうしたんですか。

清水 こいつがさ、譲んねえんだよ。

玉 だつて、俺は絶対間違ってるねえもん。

清水 いやいやいや

玉 お前が間違ってるつて。

清水 何だところ。

玉 何だよ。

2人、取っ組み合おうとする

中津 ちよつと待つてください。

やめましょう。

2人揉めるの良くないですよ。

清水 だつて、こいつがよ。

中津 待つてくださいつて。

え、何で揉めてるんですか。

2人とも、冷静じゃないから、話してくださいよ。

話せば解決するかもしれないじゃないですか。

2人 ∴

中津 ね。

どうしたんですか。

清水 いや、右耳と左耳、引つ張つたらどつちが痛いかつて。
中津 両方痛いでしょ。
玉 左耳に決まってんだろ。
清水 右耳だろ。
玉 左だよ。
清水 右だよ。

2人、取っ組み合おうとする

中津 待つてください。
え、それだけ。
清水 お前、どつちだと思つ。
玉 左だよな。
清水 右だと思つだろ。
中津 いやいやいや。
玉 左だよ。
清水 右だよ。

2人、取っ組み合おうとする

中津 待つて、待つて。
∴
分かりました。
やってみましょう。
清水 やつてみる。
玉 やつてみる。
中津 やつてみましょう。
俺の耳引つ張つてください。

2人、中津の耳引つ張る

中津 痛い、痛い、痛い。
ストップ。ストップ。ストップ。
清水 どつち痛い。
玉 左だろ。
中津 両方痛いです。
両方痛いから、喧嘩は止めてください。
良いですね。
清水 ありがとう。中津。
玉 ありがとう。

暗転

暗転中、2人揉める

照明、舞台全体

2人、適当に揉める

袖で

中津 嫌だ。このコントもう嫌だ。

袖から、誰かが中津を押して、舞台に入れる

中津 嫌だつて、嫌だつて。

寺田さん行けば良いじゃないですか。

中津、無理矢理、舞台に立たされ

さつきと同じような絡み

2回目は、びんた。右と左の頬、どちらが痛い。

同様な流れで、3回目。右のスネと左のスネを瓶で叩いて、どちらが痛い。

3回目の実験後、

中津 このコント終わり。

暗転。

照明、暗転